

「施策進行管理・評価票」検証マニュアル

今回の検証に当たり、政策評価委員会の各委員が使用した「施策進行管理・評価票」検証マニュアルは、次のとおりです。

基本的考え方

- ・ 検証項目ごとに共通のチェックポイントを3つ設け、チェックポイントを1つ満足すれば1点を与え、また、その他に評価すべき事項がある場合には1点加点する（満点は $3 + 1 = 4$ 点）こととします。

- ・ 前回の検証では、加点・減点の内訳が明確でなかったという点を踏まえ、今回の検証ではチェックポイントごとに判断結果を明示するなど、チェックシート（別紙様式）に改良を加え、次のとおり実施します。
 - （1）チェックポイントを満たす場合には の欄、満たさない場合には×の欄にチェックし、また、加点項目についても評価すべき点がある場合には の欄、ない場合には×の欄にチェックし、チェックポイント及び加点項目の 欄にチェックされた数の合計を評点数とします。
 - （2）チェックポイントについて、 と×の中間と判断される場合は、 の欄にチェックし、コメント欄に留意点（改善点等）を記入することとします。
 - （3）チェックポイントについて、×の欄にチェックした場合には、コメント欄にその理由（改善点等）を記入することとします（できる限り、判断結果を明確に示し、所管課へフィードバックしていきます。）
 - （4）評価票全体を通してのコメントは、最下欄の総括的コメント欄に記入することとします。

検証項目とチェックポイント

1 「施策の目標」

検証項目（1）

目標の明確性：市民が「目標」を容易にイメージできる記述になっているか

（チェックポイント）

目標の記述がされているか

- ・ 事業内容の説明になっていないか。
- ・ 事業を実施した結果得られる市民サービス向上や都市機能の改善についての記述があるか。

（例） （例）は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|-------------|---|
| 動物の愛護と管理の促進 | <p>（×）動物愛護フェアを開催します。</p> <p>（ ）<u>動物の愛護と適正な飼養について関心と理解を深めることを目標に、動物愛護フェアを開催するなど動物愛護精神の普及と啓発を図ります。</u></p> |
|-------------|---|

目標は具体的であるか

- ・ 「 」で記述されている目標が、指標などを使い定量的に示されているか、または、具体的な事例や期日などが示されているか。

（例） （例）は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|-------------|--|
| 動物の愛護と管理の促進 | <p>（×）動物の愛護と適正な飼養について関心と理解を深めることを目標に、動物愛護フェアを開催するなど動物愛護精神の普及と啓発を図ります。</p> <p>（ ）動物愛護フェアの開催等により動物の愛護と適正な飼養について関心と理解を深めるよう普及啓発を図り、<u>狂犬病予防注射の接種件数を増やします。</u></p> |
|-------------|--|

平易な用語で記述されているか、需要者側からみて目標がイメージできるか

- ・ 難解な専門用語や曖昧な表現がなく、市民に分りやすい内容か。
- ・ どうしても専門用語の使用が避けられない場合には、用語の説明をしているか。（「施策の概要」など別の欄で説明している場合は可とします。）

（例） （例）は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|----------------|--|
| 安定給水の確保と安全性の向上 | <p>（×）鉛製給水管の<u>更新を進めるなど</u>、水源保全や水道施設の更新、災害対策を進めることで、安全でおいしい水の安定的な供給を確保することを目標にします。</p> <p>（ ）<u>鉛製給水管の説明</u>（鉛製給水管はかつて広く使われていた給水管材料ですが、鉛の毒性に対する懸念から現在では新設が認められていません。そのため、老朽給水管対策事業の一環として鉛以外の素材への更新を進めています。）</p> |
|----------------|--|

検証項目（２）

目標の妥当性：「解決すべき課題」と目標の方向性との関係が妥当であるか

（チェックポイント）

解決すべき課題が記述されているか

- ・ 適切に現状を分析し、何が問題・課題となっているのか明示されているか。
- ・ 事業を実施することは、施策課題になりません。

（注：「施策課題」は、「当該施策によって解決すべき課題」欄に記述してあります。）

（例）

（例）は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|-------|--|
| 河川の整備 | <p><input checked="" type="checkbox"/> 時間雨量 50mm に対応した河川の整備が課題です。</p> <p><input type="checkbox"/> 都市化の進展により雨水流域の減少や、集中豪雨多発による雨水被害が増加しているため、効果的な浸水対策が必要とされることから、<u>時間雨量 50mm に対応した河川を整備し、浸水被害から市民生活を守る</u>ことが課題となっています。</p> |
|-------|--|

「 」で確認した「課題」と「目標」の関連性があるか

- ・ 解決すべき課題に対して有意義な「目標」か。

（例）

（例）は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|------------|---|
| 安全な地域社会の確立 | <p><input checked="" type="checkbox"/> 課題・・交通事故死傷者の減少 目標・・自動車登録台数の縮減</p> <p><input type="checkbox"/> 課題・・交通事故死傷者の減少 目標・・交通事故の減少</p> |
|------------|---|

「施策の概要」欄の取組み内容と「目標」の関連性はあるか

- ・ 「施策の取組み」(手段)を講じることで、「目標」とする状態や水準の達成は可能か。
(目標とする状態に向かうことができるか。)

（例）

（例）は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|------------|--|
| 安全な地域社会の確立 | <p><input checked="" type="checkbox"/> 取組み・・路上喫煙防止条例の施行 目標・・喫煙者の減少</p> <p><input type="checkbox"/> 取組み・・路上喫煙防止条例の施行 目標・・路上喫煙者の減少</p> |
|------------|--|

2 「成果の説明」の記述について

検証項目(3) 説明の妥当性：「施策の目標」を踏まえた成果の説明となっているか

(チェックポイント)

解決の状況や目標の達成状況について説明しているか

- ・ 目標に対して、結果がどうであったかの説明がされているか。

(例) (例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|----------------|------------------------------------|
| 自転車等の放置防止対策の推進 | (×) 目標・・放置自転車の減少 説明・・駐輪場の整備 500台 |
| | () 目標・・放置自転車の減少 説明・・放置自転車の減少 500台 |

目標達成に係る手段や手法など周辺の状況は記述されているか

- ・ 「できた」、「できない」だけの記述に留まらず、その理由や根拠の説明があるか。

(例) (例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|----------------|--|
| 自転車等の放置防止対策の推進 | (×) 放置自転車が××台から 台に500台減少しました。 |
| | () 自転車放置区域を2箇所新たに指定したことなどにより、放置自転車を500台程度減らすことができました。 |

施策課題全体を網羅した成果説明の記述となっているか

- ・ 目標に対して部分的な成果の説明に留まっていないか。

(例) (例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|-----------------------|---|
| 姉妹・友好都市をはじめとする国際交流の推進 | 目標・・市民ボランティア及び民間交流団体の増加を図り、国際理解を深め国際感覚を醸成し、市民レベルの国際交流活動を活性化します。 |
| | (×) 成果・・通訳ボランティアが10人増えました。 |
| | () 成果・・通訳ボランティアが10人増え、民間交流団体は5団体減少しましたが、交流事業は46事業あり、昨年を上回りました。 |

検証項目(4) 説明の客観性：客観的な分析か

(チェックポイント)

参考指標を引用するなど数値を用い、定量化した説明がされているか

(例) (例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|-------|--|
| 就労の促進 | (×) 障害者の社会的・経済的自立を支援することができました。 |
| | () 就労センターにおける就労定着支援者数は昨年を10人上回り、障害者の社会的・経済的自立を促進しました。 |

具体例や現状を示すなど、事実に基づいた記述となっているか

- ・ 思い込みや、検証されていない事実が記述されていないか。

(例) (例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|---------|---------------------------------|
| **の有効活用 | (×) サービスが向上し、利用者の増加が図れました。 |
| | () 利用時間の延長を図ることで、利用者の増加が図れました。 |

一面的な分析に陥っていないか

- ・事実を多面的に分析し、適正な説明をしているか。

(例)

(例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|-----------------|---|
| 自治基本条例に基づく自治の推進 | (×)パブリックコメント手続条例に基づく手続が前年を2件上回る18件あり、自治の拡充を図ることができました。 ()パブリックコメント手続条例に基づく手続が前年を2件上回ったものの寄せられた市民意見は30件程度減少しており、手続の周知が課題となっています。 |
|-----------------|---|

検証項目(5)

説明の分かりやすさ：分かりやすい成果の説明か

(チェックポイント)

専門用語や難解な言葉は使用されていないか

- ・難解な専門用語や曖昧な表現がなく、市民に分りやすい内容か。
- ・どうしても専門用語の使用が避けられない場合には、用語の説明をしているか。(「施策の概要」など別の欄で説明している場合は可とします。)

例は、「施策の目標」の検証項目の「(1)目標の明確性」の「平易な用語で記述されているか、需要者側からみて目標がイメージできるか」に準じます。

具体的な成果事例などを用いた分かりやすい記述となっているか

- ・評価結果の説明が理解できるか(「A」、「B」、「C」、「Q」と評価した理由が分かるか。)

(例)

(例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|------------|--|
| 安全な地域社会の確立 | (×)評価結果「B」・交通事故発生件数、犯罪認知件数とも減少しており、着実に成果が上がっている。 ()評価結果「B」・交通事故発生件数、犯罪認知件数とも減少しているものの、凶悪犯罪が発生しており、市民の感覚では「安全な地域社会」に向かっているという実感はない。 |
|------------|--|

需要者の視点に立った成果の説明か

- ・行政側の視点(理屈)だけで成果を説明していないか。

(例)

(例)は判別を分りやすく説明するために創作したものです。

| | |
|----------|---|
| ***施策の推進 | (×) %程度の費用節減を図り××の効率的な運営を図りました。 ()利用時間を延長するなど、サービスの向上を図りながら、%程度の費用節減を図り××の効率的な運営を図りました。 |
|----------|---|

3 加点項目について

減点法を補完するものとして活用することとします。

- ・検証項目に設定された視点以外で評価すべき項目がある場合。
- ・検証項目全体で一定の水準を確保している場合 等

評価結果の区分

A 順調に目標に向かって、課題解決が図られている

「順調」とは、課題解決や目標を達成するための新たな環境の変化や阻害要因等がないか、または解決済みの場合をいいます。

B 一定の成果はあるものの、課題が残されているもの

目標に向け課題解決が図られているが、社会環境の変化等により、目標達成の阻害要因など新たな課題が生じている場合をいいます。

C あまり成果があがっていない

目標に向けた課題解決が図られていない場合をいいます。

* 都市基盤整備など、ハードが主な施策は整備状況や進捗率等を評価します。また、制度や仕組み作りが主な施策は、最終目標の達成に向けた取組みの現況を評価します。

* 評価結果を「B」、「C」とした場合、成果の説明欄には「残された課題、新たな課題、社会環境の変化等」について必ず説明を必要とします。

< 評価結果の区分の考え方 >

| | 社会環境の変化や 課題解決を阻害する要因等が | |
|---------------|---------------------------|----|
| | ある | ない |
| 成果があがっている | B | A |
| あまり成果があがっていない | C | - |

| 施策コード | 施策課題名 | 委員名 |
|-------|-------|-----|
| | | |

1 「施策の目標」について

| (1) 目標の明確性: 市民が「目標」を容易にイメージできる記述になっているか | | | | | | | | |
|---|---------|--|------------------------------------|--|------|--|----|--|
| 目標の記述がされているか | 目標は具体的か | | 平易な用語で記述されているか、需要者側からみて目標がイメージできるか | | 加点項目 | | の数 | |
| | x | | x | | x | | x | |
| コメント | | | | | | | | |

| (2) 目標の妥当性: 「解決すべき課題」と目標の方向性との関係が妥当であるか | | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|--|----------------------------|--|------|--|----|--|
| 解決すべき課題が記述されているか(「当該施策によって解決すべき課題」欄に記述) | 「当該施策によって解決すべき課題」欄の課題と「目標」の関連性があるか。 | | 「施策の概要」欄の取組内容と「目標」の関連性はあるか | | 加点項目 | | の数 | |
| | x | | x | | x | | x | |
| コメント | | | | | | | | |

2 「成果の説明」について

| (1) 説明の妥当性: 「施策の目標」を踏まえた成果の説明となっているか | | | | | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---------------------------|--|------|--|----|--|
| 解決の状況や目標の達成状況について説明しているか | 目標達成に係る手段や手法など周辺の状況は記述されているか | | 施策課題全体を網羅した成果説明の記述となっているか | | 加点項目 | | の数 | |
| | x | | x | | x | | x | |
| コメント | | | | | | | | |

| (2) 説明の客観性: 客観的な分析か | | | | | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|--|----------------|--|------|--|----|--|
| 参考指標を引用するなど数値を用い、定量化した説明がされているか | 具体例や現状を示すなど、事実に基づいた記述となっているか | | 一面的な分析に陥っていないか | | 加点項目 | | の数 | |
| | x | | x | | x | | x | |
| コメント | | | | | | | | |

| (3) 説明の分かりやすさ: 分かりやすい成果の説明か | | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|--|------------------|--|------|--|----|--|
| 専門用語や難解な言葉は使用されていないか | 具体的な成果事例などを用いた分かりやすい記述となっているか | | 需要者の視点に立った成果の説明か | | 加点項目 | | の数 | |
| | x | | x | | x | | x | |
| コメント | | | | | | | | |

3 総括的コメント

| |
|--|
| |
|--|